市民相談は日本共産党へ
森戸よう子　東町5-14-10　☎042-383-0514
水上ひろし　緑町1-6-7ハイツ光　☎042-301-9521
寺内だい作　貫井南町1-21-13-102　☎042-386-2525
たゆ　久貴　貫井北町1-25-7-4 シルキーゼファーⅣ101号室　☎042-203-1362

しんぶん小金井

URL http://www.jcpkoganei.com/ 日本共産党小金井市議団 検索

2021年4月4日号
No.1777

●発行 しんぶん小金井社
〔連絡先〕小金井市東町4-27-4
☎ 042-381-0779　若木方

新庁舎と新福祉会館建設問題
建設予定地の浸水問題について市長に対し「責任を問う決議」

新庁舎と新福祉会館の建設について、防災マップの変更に伴う実施設計変更のための補正予算が、会期延長した3月8日の本会議で立憲民主を含む市長与党、自民、公明などの賛成多数で可決されました。

一方、「新庁舎等建設予定地の浸水問題への一連の対応について西岡市長の責任を厳しく問う決議」が日本共産党等によって提案され、賛成多数で可決されました。

予算審議の中で明らかになった経過は、次の通りです。

①令和元年6月に東京都から浸水予想区域図の変更の連絡が地域安全課にあった。その内容は、改定前は50cmの浸水予想が1mに変更された、②地域安全課が庁舎建設担当に伝えたのはそれから3か月後の10月、③10月末に基本設計会社とコンストラクションマネージャー（建築のアドバイザー）に浸水予想区域図の変更を伝えたが、市も基本設計会社もコンストラクションマネージャーも変更を検証せず、そのまま基本設計を進めた、④昨年6月浸水予想区域の変更について検証せず、実施設計の委託契約を結んだ。

また、市が示した防災マップに基づく設計変更案は敷地の北側駐車場部分が浸水することを前提にした設計変更です。

日本共産党は、「設計会社が情報を知っていたにもかかわらず、設計に反映しなかった責任は大きい。小金井市が設計変更の経費を支払う義務があるのか疑問だ」、「防災拠点と銘打った新庁舎なのに、豪雨災害時には救援車も入れない浸水対策は見直すべき」と主張しました。

新型コロナウイルス感染対策
ワクチン接種　5月10日ごろから開始予定

新型コロナウイルス感染防止策の一つである高齢者のワクチン接種が始まります。小金井市は5月10日以降を予定しています。ワクチンはファイザー社製のみ。2回接種です。費用は無料です。

接種できる場所は、市内47か所の指定医療機関と集団接種会場として保健センターと緑公民館の予定です。

日本共産党はかかりつけ医や身近な医療機関で接種できるよう要求してきました。

また小金井市に到着するワクチンの量は4月4日までに975回分。6月中には高齢者全員分が届く予定です。

予約券は4月19日以降に発送され、23日以降予約を開始します。予約の方法などの詳細は予約券と一緒に送られてくるお知らせ文をご覧ください。

高齢者以外の基礎疾患を持つ人への接種時期は不明です。

ご不明な点は、新型コロナウイルス感染症対策小金井市コールセンター（042-316-7666）又は日本共産党までご連絡ください。

日本共産党　新型コロナウイルス感染対策10回目の申し入れ
生理用品　東京都から180袋が届いていることが判明

3月31日（水）日本共産党小金井市議団は、西岡市長に対し、9項目の新型コロナウイルス感染症の感染増加に伴う緊急申し入れをおこないました（裏面参照）。日本共産党市議団の申し入れは10回目です。

西岡市長からは、「毎週1回対策会議を開催している。市役所内で共有し、実施できるものは実施していきたい」と答えました。

市議団の申し入れの内容は、日本共産党中央委員会の緊急提案とともに市民から寄せられている要求が含まれています。

懇談の中で、「女性の生理用品の無料支給をお願いしたい」との要請に対し、市長から「生理用品については、東京都から5箱（1箱36袋。1袋30枚入り）届いており教育委員会などに配布方法など検討するようお願いしている」と回答がありました。

市長に申し入れる4人の市議会議員（左からたゆ、水上各市議、西岡市長、寺内、森戸各市議）

裏面に新型コロナウイルス感染の緊急申し入れを掲載

街から

1年4カ月のブランクを経て市議会に復活することができました。再び新人を含め3人の議員のみなさんと活動でき本当によかったと思います。コラム「街から」も久しぶりで、新鮮です。

私は皆様の物心両面のご支援をいただきながら、要求実現に取り組んできました。

特に新型コロナウイルス感染症の問題での相談活動、新庁舎建設のコストダウンで見直す問題、都市計画道路の建設問題、リサイクル事業所の存続問題、ココバスのルート再編問題、少人数学級の実現や子育て支援をめざす活動など市内を走り回った1年3カ月でした。

みなさんと一緒に活動させていただく中で、見えてきたこと、学んだことがたくさんありました。今回みなさんの思いを市政に届け働く機会と力を与えていただきました。思う存分働きます！　これからもよろしくお願いします。

（森戸よう子）